

# 東播

■東播支社  
〒675-0031  
加古川市加古川町北在家2311  
編集部  
TEL...079-422-2073  
FAX...079-421-1023  
e-mail  
toban@kobe-np.co.jp  
業務部  
TEL...079-422-2889

■高砂支局  
〒676-0022  
高砂市高砂町浜田町1-8-21  
TEL...079-442-0721

■北播総局  
〒673-1431  
加東市社1386-8  
TEL...0795-42-5656  
FAX...0795-42-4112

■姫路支社  
〒670-0964  
姫路市豊沢町78  
TEL...079-281-1125  
FAX...079-281-9277

広告の  
ことなら  
気軽に  
お電話下さい

◀(株)神戸新聞事業社  
東播支社  
加古川市加古川町北在家2311  
神戸新聞東播支社ビル内  
☎(079)423-0434

震災時の状況は「加古川市神野町の社宅で大きな揺れを感じた。加古川製鉄所製鉄部の管理職になったばかりで、高炉の技術部門を担当していた。製鉄部に電話をする」と、部下が「高炉で重大事故が起こった」と報告してきた。地震が起きたという認識がなかったようだ。高炉の停止とガス漏れの点検を指示し、製鉄所に向かった。

## 炭焼き小屋が完成

### 東播工業高生造る 神吉町内会へ



東播工業の生徒らが完成させた炭焼き小屋が町内会に引き渡された＝加古川市東神吉町神吉

加古川市東神吉町の神吉山のふもとに間伐材を炭化する炭焼き小屋が完成し、21日、地元的神吉町内会への引き渡しが開かれた。建設した東播工業高校の生徒と活用する住民ら約30人が完成を祝った。

町内会は2009年度、県が進める事業の一環で神吉山を整備する里山会を発足。間伐材は、ふもとに置いていた釜を使い、木炭や竹炭に再利用してきたが、吹きさらしだったため、近くの同校に相談していた。

小屋造りは、同校土木科と建築科の3年生12人が課題研究として、昨年9月から約4

カ月間かけて作業に取り組んだ。ブロックとスギで組み、筋交いを金具で留めて補強。三角のトタン屋根を急勾配にして、約2分四方の空間ながら3分近い高さを出すなど工夫を凝らした。

この日の式で、感謝状が贈られた生徒たちも大作業の貴重な経験になった」とあいさつした。同町内会の副会長で里山会のメンバー



ペットボトルでの精米や、すり鉢でのもみすりを体験する児童たち＝加古川市平荘町山角

米穀店主が米食の多様化が進み、日本人切さを伝える出前授業が21日、加古川市立平荘小学校(同市平荘町山角)であり、4年生29人が米の栄養や農家の取り組みについて学び、精米やもみすりを体験した。

日本米穀小売商業組合連合会が進める食育事業の一環。「マイスター」の資格を持ち、同市別府町で米穀店を営む西多寛明さん(51)

授業で、西多さんはパンや菓子と比較しながら、米の栄養バランスや腹持ちの良さを強調した。一方、食生活の

米食の大切さ学ぶ  
精米やもみすり体験も

加古川市平荘町山角

「の神吉昭男さん(68)は「立派なものを造ってくれたので、活動に

も力が入ると喜んだ。(井上太郎)

家らが手がける「鹿児の華米」が給食に出てくることを紹介した。同校では2006年から毎年、地元農家らの協力で、5年生が米作りに取り組む。この日、児童らはすり鉢でのみすりや、ペットボトルを使った精米を体験。春に田起こしを控えており、内木場朱里さん(10)は「普段、何気なく食べていた。自分たちでもおいしいお米を作ってみよう」と張り切っていた。(井上太郎)

「自然の脅威に直面し、個人の能力がいかに微力かを感じた。個人プレーではなく、みんなの総力をどう引き出すかを考えるようになった」

「東日本大震災の津波でアンローダーが流された鉄鋼メーカーがあり、加古川のノウハウを提供した。普段はライバルだが、有事の際に結束できるありがたい業界で働いていることを幸せに思う」

聞き手・大久保香 〓おわり〓

## それぞれの震災体験 1.17から20年



神鋼加古川製鉄所で高炉の再稼働に携わった  
柴田 耕一朗 現所長(56)



原料の荷役設備「アンローダー」が倒壊した神戸製鋼所加古川製鉄所の岸壁Ⅱ加古川市金沢町(神鋼提供)

「高炉を立ち上げる」と社内外に向けて宣言すると、ムードは一気に変わった。「加古川よりひどい被害を受けた神戸(製鉄所)に

## 会社存続の危機に結束

「自然の脅威に直面し、個人の能力がいかに微力かを感じた。個人プレーではなく、みんなの総力をどう引き出すかを考えるようになった」

「東日本大震災の津波でアンローダーが流された鉄鋼メーカーがあり、加古川のノウハウを提供した。普段はライバルだが、有事の際に結束できるありがたい業界で働いていることを幸せに思う」

聞き手・大久保香 〓おわり〓

加古川で2人死亡  
建物損壊は163件  
生活機能も一時麻痺

火葬場に放射線計測  
加古川市では放射線53件

神戸にて被災死者1人  
建物損壊は163件  
生活機能も一時麻痺

加古川で2人死亡  
し、建物損壊が1658件に上ったことなどを報じる東北播版

〈メモ〉神戸製鋼所は被災地企業で最大の約1020億円の被害を受けた。加古川製鉄所(加古川市金沢町)では、原料を荷揚げする「アンローダー」が倒壊し、作業中だったグループ会社の社員2人が犠牲となった。神戸製鉄所(神戸市灘区)では3号高炉が停止。懸命の復旧作業で約2カ月半後に再稼働させた。阪神・淡路大震災発生時の当時、気象庁は加古川に震度計を置いていなかったが、加古川市消防本部の加速度計が256μmを表示した。震度6に相当するという。

特急にはねられ  
明石の男性死亡

播磨町の山電

20日午後10時15分ごろ、播磨町三子、山陽電鉄西一見―播磨町間の踏切付近で、明石市の無職男性40が線路内に入り、阪神梅田発山陽姫路行き直通特急にはねられ、死亡した。

加古川署によると、男性に気付いた運転士が非常ブレーキをかけましたが、間に合わなかったという。山電による

サイレン

21日午前1時35分ごろ、高砂市北西部の路上で、帰宅中の女子大学生(21)が、後ろから徒歩で近づいてきた男に胸を触

はりま カルチャー

今週のおすすめ

■投げ入れの花器を展示 稲美町国安のギャラリー天心で、所蔵品を展示販売する「myコレクション展」が開かれている＝写真。29日まで。

自然の風姿を保ちながら花を生ける「投げ入れ」に使う花器や掛け軸を中心に、オーナーの後藤侑子さんが選んだ約40点を展示。古

音楽

われは満ち足れりイタリヤ

加古川市を中心とした2月8日(土)午後5時、2月13日(木)午後5時、加古川市木村、カトリック加古川教会。出演は北村多恵さん(ソプラノ)、小林美紀さん(オルガン)。曲目は「アヴェ・マリア」など。チケット代千円。小川さん☎094・58894・1094

市民会館リニールオープン記念 高嶋ちさ子12人のヴァイオリン・スト 2月11日(日)15時開演、加古川町北在家の市民会館大ホール。高嶋ちさ子さん、高嶋さんが結成したアンサンブルグループ「ア・ピュア」の村松亜紀さんが出演する。チケットは「G線上のアリア」や「パッヘルベルカノン」などを演奏する予定。4千円。全席指定で2階席に空きあり。市民会館☎079・424・5381

加古川 年賀状展 31日まで。JR加古川駅前サンライズビル地下、画廊喫茶ニユービィ。東播の作家や愛好家から寄せられた年賀状約1800点。8時半～18時。日曜定休。ニユービィ ☎079・424・0086

平成26年度市小学生習字展 23・25日、平岡町新在家、加古川総合文化センター。小中学校、養護学校の児童・生徒が授業や宿題で書いた優秀